

2 - 5 中国ナマコ産業の発展における企業戦略 大連市を事例として

耿 瑞（鹿児島大学大学院）

研究目的：中国では水産物消費が成長し続けている。中でもナマコを始めとする、様々な高級水産物消費がブームになっており、これら高級水産物に対する顕著な需要の増加がみられる。高級水産物の価格は大幅に上昇し続け、市場規模は近年、数倍に増大した。一方、消費量の急激な増加に伴い、多くの企業が高級水産物の養殖、加工および販売に参入している。本論文は、高級水産物の代表としてナマコを取り上げ、これら高級水産物の市場拡大の原因を明らかにしたい。特に、中国大連市におけるナマコ加工企業の戦略と企業間の競争関係に着目し、ナマコの生産、加工及び販売の実態分析を通じて上記の目的に接近する。

研究方法：本報告では、既存文献や中国漁業局の統計資料及びホームページ等の二次資料を用いて、ナマコ産業の現状を概観した。また、大連市漁業局、ナマコ加工企業、小売業などにおける実態調査を行った。

研究結果：一部の大規模なナマコ加工企業はさらなる生産拡大を図っており、加工の寡占化と膨大な製品供給で市場シェアを占有している。他のナマコ加工企業は競争力のため、製品の品質や販売面などに着目し、各社の比較優位性を維持していることが解明された。その結果、多くの企業がナマコ市場に集中しているため、競争が激化しているのが実情である。そうした中で一部のナマコ加工企業は新しい市場ニーズに対応した高次加工品製造にシフトした経営戦略を持っていることが明らかとなった。

以上の分析により、ナマコ産業は非常に活発な企業活動により全体の生産量が拡大し、製品も多様化していることが明らかになった。さらに、各ナマコ加工企業は新しい需要を作り出すための市場開拓を進めており、そのことがナマコ消費市場の大幅な成長をもたらしていることも明らかになった。